

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025年6月30日（第1版）

承認番号	25072
課題名	肺癌における新たな治療標的分子の探索
研究期間	西暦 2025年7月17日（実施許可日） ～ 2030年3月31日
研究の対象	2001年1月1日～2025年6月30日に当院で肺癌の診断および治療を受けた方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、血液検査結果、画像診断結果、病理診断結果、治療内容、治療効果、再発の有無、生存状況） ■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：肺、リンパ節、転移臓器、胸水、腹水） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	近年、肺癌の薬物療法として分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬が登場し、一部の患者さんで目覚ましい効果を発揮しています。しかし、これらの治療薬を用いても十分な効果が得られない患者さんも多く、新しい治療法の開発が期待されています。そのため、肺癌の診断や治療を受けた患者さんの情報を蓄積し、腫瘍組織における様々な分子の発現を解析することは、新たな治療法の開発やバイオマーカーの発見に大きく役立つ可能性があります。本研究は、診断および治療時に採取された腫瘍組織において、治療標的となる分子や腫瘍の悪性度に関連する分子の発現を解析することにより、肺癌の新しい診断・治療法の開発や病態解明に役立てることを目的としています。
研究の方法	検査や手術時に採取した肺やリンパ節、転移臓器、胸水・腹水などの組織のうち、診断終了後の余った組織を使用して研究を行います。発現を調べたい分子に目印をつける試薬で組織を処理し、その発現具合を顕微鏡や検出機械で確認します。また、カルテから年齢や性別、既往歴、各種検査結果、治療内容、再発・生存の有無などの記録を参照して、上記分子の発現との関連を数学的な処理を行って判断します。
その他	なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

旭川医科大学 病理学講座免疫病理分野

講師 長門利純（研究責任者）

電話番号 0166-68-2381